

片山一良先生 略歴及び業績

略歴

昭和十七年（一九四二）	一月	兵庫県赤穂市に生まれる
昭和三十六年（一九六一）	三月	兵庫県立赤穂高等学校卒業
昭和四〇年（一九六五）	三月	駒澤大学仏教学部仏教学科卒業
昭和四二年（一九六七）	三月	駒澤大学大学院人文科学研究科仏教学専攻修士課程修了
昭和四五年（一九七〇）	三月	大谷大学大学院人文科学研究科インド学専攻博士後期課程単位取得退学
昭和五〇年（一九七五）	四月	駒澤大学仏教学部講師
昭和五四年（一九七九）	四月	駒澤大学仏教学部助教授
昭和六〇年（一九八五）	四月	駒澤大学仏教学部教授
平成元年（一九八九）	四月	駒澤大学仏教学部仏教学科主任（～平成三年三月）
平成四年（一九九二）	四月	駒澤大学大学院人文科学研究科担当
平成二一年（二〇〇九）	四月	パリ学仏教文化学会理事長（～平成二四年三月）
平成二五年（二〇一三）	三月	駒澤大学定年退職
同年	六月	駒澤大学名誉教授

その他、オックスフォード大学客員研究員、東京大学非常勤講師、中山大学（中国）客員教授などを務める。

- パーリ仏典長部 大篇Ⅱ
 二〇〇五年 パーリ仏典長部 パーティカ篇Ⅰ
 二〇〇六年 パーリ仏典長部 パーティカ篇Ⅱ
 二〇一一年 パーリ仏典相應部 有偈篇Ⅰ
 二〇一二年 パーリ仏典相應部 有偈篇Ⅱ
 大藏出版
 大藏出版
 大藏出版
 大藏出版
 大藏出版

論文

- 一九六九年 パーリ語文法学の系譜
 一九七〇年 カッチャーヤナの文法(一)
 一九七一年 *Saddanūti* に於ける音声論
 一九七二年 *Nirutti* 類について
 カッチャーヤナ文法(二)
 一九七三年 *Moggallānavyākaraṇa* 1.1 — *ēṣṣō* に つ いて
 パーリ文献に於ける精霊の扱い — *bhūta* の場合 —
 パーリ語に於ける *ekakkhara* の点描 — *Volksetymologie* 考 —
 『ゾットーダヤ』訳注 (VUTTODAYA) — パーリ韻律論 —
 セイロンに於ける仏教と呪術的アニミズム — *Pantheon* をめぐって —
 カッチャーヤナの文法(三)
Peta に関する若干の問題 — セイロンの場合 —
 バリ (Bali) 儀礼 — 歴史とその意味 — (上)
 『パーリ語文献史』和訳・索引 (GANDHAVAṂSA)
 『印度学仏教学研究』一七—二二号
 『印度学仏教学研究』一八—二二号
 『印度学仏教学研究』一九—二二号
 『印度学仏教学研究』二〇—二二号
 『曹洞宗研究員研究生研究紀要』五号
 『印度学仏教学研究』二一—二二号
 『宗教研究』二一四号
 『曹洞宗研究員研究生研究紀要』六号
 『佛教研究』三三三
 『駒澤大学宗教学論集』六輯
 『印度学仏教学研究』二二—二二二号
 『宗教研究』二一八号
 『駒澤大学宗教学論集』七輯
 『佛教研究』四号

- 一九七五年 和訳『セイロン餓鬼説話』〈上〉
カッチャーヤナの文法(四)
- 一九七六年 和訳『セイロン餓鬼説話』〈下〉
原始仏典の表現法—*vyāṭṭjanapada · arthapada*—
バリ (Bali) 儀礼—歴史とその意味—(下)
- 一九七七年 SUBODHĀLĀṆKĀRA —パーリ修辭論— テキスト篇
SUBODHĀLĀṆKĀRA —パーリ修辭論— 訳注篇〈上〉
- 一九七八年 SUBODHĀLĀṆKĀRA —パーリ修辭論— 訳注篇〈上〉
パーリ語文法文献目録 (土着篇)
- 一九七九年 MOGGALLĀNA ABHIDHĀNAPPADĪPIKĀ (I)
パリッタ (Paritā) 儀礼 —スリランカの事例—
パリッタ (Paritā) 儀礼の歴史的背景 —アッタカター文献を中心として—
- 一九八〇年 SUBODHĀLĀṆKĀRA —パーリ修辭論— 訳注篇〈下〉
スリランカ仏教における「神の招待儀礼」
- 一九八一年 初期仏教における文化受容 —葉の章—
MOGGALLĀNA ABHIDHĀNAPPADĪPIKĀ (II)
説法 (dhammasaṇa) と聞法 (dhammasavana) —パリッタ儀礼の基本構造
- 一九八二年 MOGGALLĀNA ABHIDHĀNAPPADĪPIKĀ (III) 〈含索引〉
古代セイロンにおけるサンガとダーサ —施与の文化変容—
オックスフォードの東洋学
- 一九八五年 仏教における水のシンボリズム —献水 (dakḥinodaka) —
- 一九八七年 〔駒澤大学仏教学部論集〕六号
〔曹洞宗研究員研究生研究紀要〕八号
〔駒澤大学仏教学部論集〕七号
〔駒澤大学仏教学部研究紀要〕三四号
〔駒澤大学宗教学論集〕八輯
〔佛教研究〕六号
〔佛教研究〕七号
〔曹洞宗研究員研究生研究紀要〕十号
〔駒澤大学仏教学部研究紀要〕三七号
〔駒澤大学宗教学論集〕九輯
〔駒澤大学仏教学部論集〕一〇号
〔佛教研究〕九号
〔宗教研究〕二四二号
〔駒澤大学仏教学部論集〕一二号
〔駒澤大学仏教学部研究紀要〕三九号
〔日本仏教会年報〕四七号
〔駒澤大学仏教学部研究紀要〕四〇号
〔パーリ仏教文化研究〕山喜房仏書林
〔駒澤大学仏教学部論集〕一六号
〔駒澤大学宗教学論集〕一三輯

一九八八年 パーリ仏教における相対的規準「I」——kappiyaの原義——『駒澤大学仏教学部論集』一九号

一九八九年 パーリ仏教における相対的規準「II」——kappiyaとニカーヤ——『駒澤大学仏教学部研究紀要』四七号

四大教法 (catāro mahāpadesā) について

一九九〇年 十事 (dasa vathūni) について

仏教人類学 ——その立場と領域

春秋社

仏教における「聖性」

一九九一年 仏教における「話」の聖性

『駒澤大学宗教学論集』一六輯

『前田惠學博士頌寿記念 佛教文化學論集』、山喜房佛書林

『教化研修』

一九九二年 南方仏教と曹洞宗の儀礼

一九九四年 伝統仏教の比丘戒律 ——序篇——

『駒澤大学仏教学部論集』二五号

一九九五年 伝統仏教の比丘戒律 ——本篇(上)——

『駒澤大学仏教学部研究紀要』五三号

二〇〇〇年 原始仏教における善惡 ——『法句』第一八三偈の意味するもの——

『日本仏教学会年報』六五号

二〇〇一年 パーリ仏教における涅槃

『駒澤大学仏教学部研究紀要』五九号

二〇〇四年 如来の時間と空間 ——今ここに学ぶ——

『仏教文化研究所紀要』四三集(龍谷大学)

二〇〇六年 仏教 ——智慧慈悲の世界——

『真宗文化 真宗文化研究所年報』一五号(京都光華女子大学)

四梵住 ——仏の無量心(慈悲)

二〇一〇年 見仏聞法の世界

『日本仏教学会年報』七二号

一九七九年 森幹男著『雜記帖(一) 東南アジア―土俗の探究』
 一九八八年 浪花宣明著『在家仏教の研究』

『民族學研究』四三―四号
 『仏教学セミナー』四七号(大谷大学)

連載

二〇〇五―二〇〇八年

ブッダのことば ―パリー仏典入門(全三一回)

『大法輪』七二―九号―七五―三三

二〇一〇―二〇一二年

パリー仏典にブッダの禪定を学ぶ ―『大念処經』を読む(全二四回)

『大法輪』七七―七号―七九―一六号

その他

一九七七年

W・ラーフラ 禪と牛飼い ―禪・上座部比較研究試論(講演録翻訳)

一九八八年

Gombrich R.F. 上座部仏教の現代への対応(翻訳)

『駒澤大学仏教学部論集』八号

一九九二年

伝統仏教における縁起解釈(松本史朗博士との対論)

『駒澤大学宗教学論集』一四輯
 奈良康明監修『ブッダから道元へ ―仏教討論集』、
 東京書籍

二〇〇九年

パリーの「学」と「学会」―その調和―(提言)

『パリー学仏教文化学』二三号

二〇一〇年

無常の風(建部公秋理事長追悼文)

『佛教研究』三八号

二〇一一年

無常の世界―不離叢林(講演録)

『パリー学仏教文化学』二四号
 『禪研究所紀要』四〇号(愛知学院大学)

禪と経の世界(講演録)

『駒澤大学大学院仏教学研究会年報』四四号

二〇一二年

楊金萍・肖平訳『佛的語言 巴利佛典入門』

宗教文化出版社(中国)